

アフリカの子どもたちとエイズ問題のために 佐賀からできること

～学生達が立ちあげた国際協力13年～

世界の貧困と
国際協力
について
語り合おう



私たちPLASは、7人の学生で設立した国際協力NGOです。「HIV/エイズに影響を受ける子どもたちが未来を切り拓ける社会の実現」を目指して、ウガンダ共和国・ケニア共和国で現地NGOとともに、HIV陽性シングルマザーの生計向上支援や、子どもと保護者のカウンセリング・キャリアプランニング支援を行っています。

国内では東京を拠点に活動し、講演や勉強会を続けてきましたが、さらなる支援の輪を広げていきたい、東京以外の方々とも交流の機会が作りたい……との思いから、今回、佐賀のみなさまと語り合う場を設けさせていただきました。

世界の貧困や国際協力について、佐賀という、豊かな自然と歴史・文化が根付いた町でどんなことができるのか、ぜひこの機会に、一緒に考えていきましょう。

プログラム前半【講演:PLASの13年】

プラスの設立ストーリーや、現地の人々と共に歩んだ13年間の活動、アフリカのエイズ・貧困問題、そして国内におけるボランティアや支援者が支える活動についてお話しします。

プログラム後半【ワークショップ:佐賀からできること】

参加者のみなさんと国際協力やボランティア、佐賀からできる社会貢献をテーマに語り合います。みなさんのアイデアや思いを、ぜひお聞かせください。

■日時:5月26日(土) 14:00-16:00

■場所:佐賀県国際交流プラザ 多目的テーブル席
(佐賀市白山2丁目1-12 佐賀商工ビル1F)

■定員:20名(満席の場合入場できないことがあります)

■参加費:

マテリアルバッグ(資料やポストカード付) + 飲み物代として500円

■申込方法:下記URLまたはQRコードより

お申し込みください。

<https://www.plas-aids.org/blog/2018/04/16/35221>



【講演者プロフィール】

小島美緒(こじまみお)

エイズ孤児支援NGO・PLAS / 事務局長



2006年 国際基督教大学教養学部を卒業。大学卒業後にウガンダへ渡航。HIV陽性者支援NGOでのインターンや、エイズ孤児が通う小学校の経営に携わったことでエイズ孤児問題に関わるように。帰国後、JPモルガン証券株式会社に勤務。社内でのCSR活動に関わりながら、プラスのボランティア運営スタッフをはじめ社会貢献活動に携わる。2010年、第一子出産とともにプラスへキャリアチェンジ。組織運営の戦略・財務・人材育成をリードする。米国フィッシュファミリー財団が日本社会に変える原動力となる日本人女性を選抜するプログラム「Japanese Women's Leadership Initiative」2016年フェロー



特定非営利活動法人エイズ孤児支援NGO・PLAS / 報道担当者: 小島 e-mail: info@plas-aids.org
TEL: 03-6803-0791 (受付時間: 月～金 10:00～17:00) HP: <https://www.plas-aids.org/>